



成瀬ダム堤体打設工事

# 工事だより

[第10号]

[発行元]

2020年10月発行

鹿島・前田・竹中土木JV 成瀬ダム堤体打設工事事務所

〒019-0803 東成瀬村椿川字立石30-1

TEL : 0182-23-5185

WEBサイトはこちら

FAX : 0182-23-5186 (担当: 松村)

www.narusedam.jp



工事に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお電話ください。

A+CSELの自動化重機による堤体の打設が行われています



A+CSELによる堤体打設の状況 (2020年9月撮影)

## 工事概要

工事名	成瀬ダム堤体打設工事(第1期)	10/2	安全大会 (密集回避のため分散して開催)
発注者	国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所	10/20	職長会パトロール
工事場所	秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内	10/22	安全衛生委員会
水系	1級河川 雄物川水系成瀬川	10/27	職長会パトロール
地質	緑色凝灰岩・凝灰角礫岩・凝灰質泥岩	10/29	災害防止協議会
工期	2018年5月9日～2022年12月9日 (1,675日、約55ヶ月)		
ダムの目的	洪水調整 (F) ・流量機能維持 (N) ・農業用水の補給 (A) 水道用水の供給 (W) ・発電 (P)		

## 今後の予定

10月1日現在の人数	元請職員	92人
	作業員数	464人
	合計	556人

## 工事 現況写真



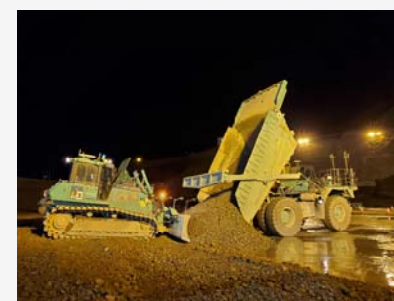
左岸 (施工状況)  
2020年9月撮影



右岸 (施工状況)  
2020年9月撮影

## 現況報告

A+CSELによるCSG打設を8月下旬より昼夜施工にて進めております。現場付近の紅葉は少しずつ色付き始め、これより本格的な紅葉シーズンを迎えることとなります。国道342号線を通行する車両の増加が想定されることから、より一層の安全運転に努め、気を引き締めて施工を進めてまいります。



[夜間施工の状況]  
A+CSELによる夜間のCSG打設の様子



[中段排水トンネル安全祈願 (9月14日)]  
現場HPのトピックスにも掲載しています



[クリケット交流 (8月14日)]  
スリランカ人の重機オペと地元の方々がクリケット体験を通じて交流を行いました

## ご挨拶

工事3グループ長の大木 洋和 (おおき ひろかず) です。工事3グループは堤体工のうち、止水コンクリート工と保護コンクリート工を担当しています。私は昨年の7月に徳島県の長安ロダム (昭和30年に鹿島が施工した重力式コンクリートダムの改修工事) より参りました。これまで4つのダム (埼玉・佐賀・島根・徳島) の施工に携わり、今回が5つ目のダムです。また、東北地方での勤務は初めてで、雪に対する知識や経験もなかったため、雪と生活を共にすることがいかに大変かを身に沁みて感じました。豪雪地帯の中で生活されている地元の方々には頭が下がります。多くのご助言ありがとうございました。私の趣味は釣り、休日は東成瀬村の大自然を感じながら、成瀬川でのイワナ釣りを楽しみ、最高の休日を過ごしています (当JVは地元の漁業組合さんの放流活動にも協力しています)。この素晴らしい自然を守りながら、地元の皆さんに愛されるダムを安全に施工して参りますので、引き続き皆様からのご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



鹿島・前田・竹中土木  
特定建設工事共同企業体  
成瀬ダム堤体打設工事事務所  
工事3グループ長  
大木 洋和 (鹿島建設)

自動化Gr.の太田 裕士 (おおた ひろし) と申します。自動化Gr.は、その名の通り鹿島が開発した建設機械の自動化による次世代の建設生産システム「A+CSEL (クワッドアクセル)」の運用および施工を行う部隊です。その中で、私は無線通信やGPSといった重機の自動化に欠かせないインフラ関係を担当しています。インフラといえば、皆様のご自宅であれば、電気や水道といった「あって当たり前」のものを。これを縁の下で支える業務を行っています。

成瀬ダムには昨年春から晩秋まで、また今年も春から来ております。昨夏には何の偶然か、娘が大学の実習で東成瀬村田子内の上掬遺跡で発掘を行い、その縁で地元の方々と色々お話しするなど、楽しい時間を過ごさせていただきました。また村内の直売所では新鮮なトマトやアスパラ、イチゴにリングオや桃、トウモロコシにじゅんさいなど多彩な産物やトマトバーガーなどを楽しんでいます。今後も東成瀬村の皆さんや産物との出会いを楽しみにしています。



鹿島・前田・竹中土木  
特定建設工事共同企業体  
成瀬ダム堤体打設工事事務所  
次長 (自動化Gr・通信担当)  
太田 裕士 (鹿島建設)